新 年 の こ と ば

明けましておめでとうございます。
年頭にあたり、ごあいさつ申し上げます。

議会は、地方自治制度における二元代表制の一翼を担っており、執行機関に対する監視機能を果たすとともに、多様化する市民ニーズを的確にとらえ、市政に反映することを大きな使命としております。
そのような中、本市議会におきましては、議会の意見を翌年度の予算編成に、より一層反映させるため、今年度から決算議案の審査時期を早め、9月定例会中に議決を行うことといたしました。
また、議会改革調査特別委員会において、育児・介護を会議の欠席理由に追加することとし、昨年の 12 月定例会において、会議規則の改正案を全会一致で可決いたしました。
今後とも、議会改革調査特別委員会での調査を中心に、議会改革の取り組みを進め、時代に即したさらなる議会の活性化に取り組んでまいります。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症が、世界中で拡大し、日本国内においても、様々な分野で大きな影響を受けた一年でありました。
改めて、感染拡大防止にご尽力、ご協力いただいている関係者、市民の皆様に心から感謝申し上げます。

本市議会では、4月及び5月の臨時会、そして、6月以降の定例会ごとに、感染拡大防止や、医療・介護等の従事者、市民、事業者への支援など、感染症対策のための施策について鋭意審議を行ってまいりました。
新型コロナウイルス感染症に関しては未だ先が見えない状況が続いており、また、新しい生活様式が求められるなど、困難な状況において、議会が果たす役割も大変重要となっております。
今後とも、安全、安心で住みやすく、活力と魅力にあふれる福岡、そして何より、市民の皆様が誇りを持てるまちを築いていくため、我々市議会としましても、より一層の努力をしてまいりたいと決意を新たにいたしております。

市民の皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

令和3年元旦

福岡市議会議長　　阿部　真之助
福岡市議会副議長　　楠　正信